

アウル通信



2025.9.1 発行 第256号

『素直であること』

最近はまっている書籍よりご紹介いたします。

自戒の念を込めて。

ある方と1時間ほどお話をしました。その方も自分なりの考え方があたくさんあると思うのですが、私はこのような話をしました。

「〇〇さん、あなたは私が話したことに対して、すべての受け答えを『でも』と『だって』で始めました。『でも、何々ですよね』『だって、これはこうじゃありませんか』と。思い返してください。二十回くらいのあなたの発言全部が『でも』と『だって』で始まりました。思い出せるだけ思い出してください。『なるほど、そうですよね』という受け答えで始まったものは一つもありませんでした。全部『でも』と『だって』でした。そういう考え方、生き方をやめて、『なるほど、そうですよね』という受け答え方をますますようにしたらどうでしょうね。そうしたら人生がずいぶん楽になり楽しくなると思いますよ。

自分のことをわかってもらいたい、自分の主義主張を唱えたいという気持ちはわかるのです。しかし言い返すことによって味方が得られるとは思えませんし、逆に敵をたくさんつくっているかもしれません。その相手が家族であったり、子供であったり、同僚であったり、仲間であったり、友人であったりしたときには、味方をつくるどころか、どんどんどんどん敵を増やしていくような気がします。

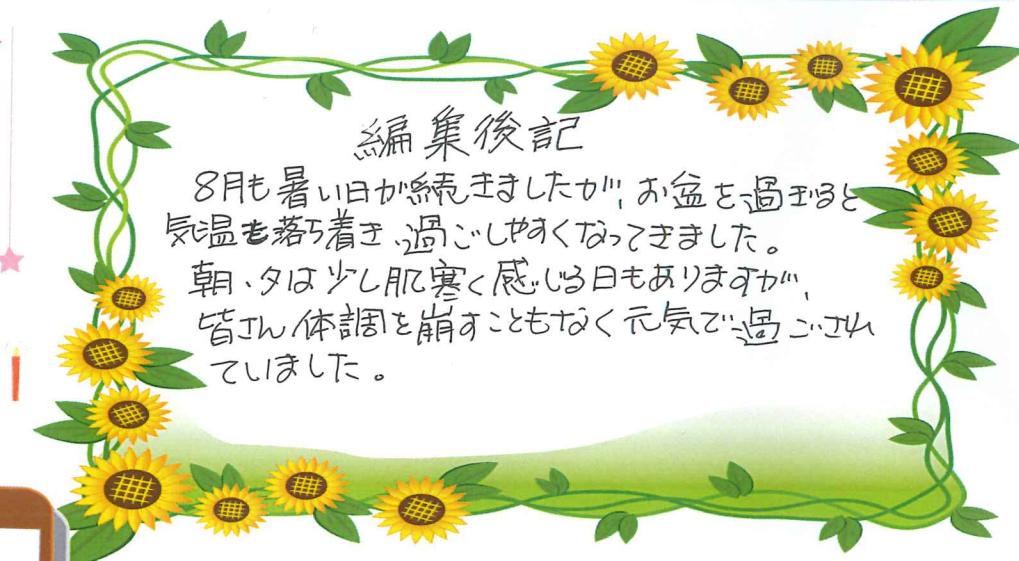
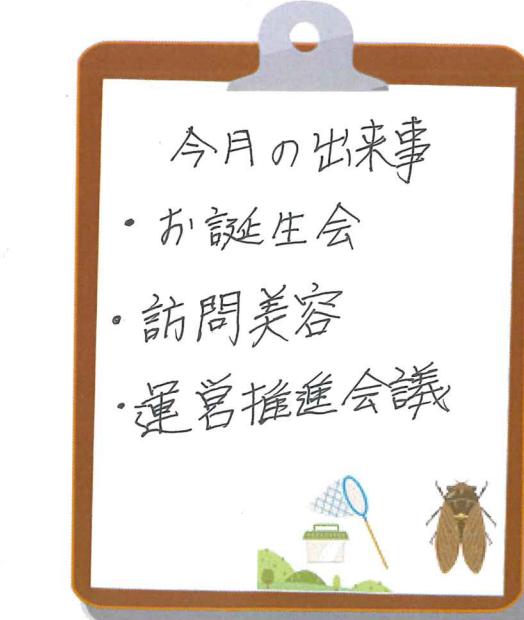
聞き入れるかどうかは別として、人の話は「なるほど、そうですよね」と聞いておけばいいのではありませんか。そして取り入れられるものは黙って取り入れる。取り入れられないものは自分の感覚で黙って切り捨てる。そして、その相手の話や提案を、一旦「だって」や「でも」で切り返すのではなく、黙って聞き入れたらどうでしょう。そんな素直な生き方も、ひとつの生き方だと思います。宇宙も神様も素直な人を好むように思います。

出典 小林正觀著 「運命好転 十二条」より

感謝
アウル宮崎直人

今月の題字は、氣田京子様に書いて頂きました。

8月20日に運営推進会議を開催しました。
出席できなかつたご家族様へ議事録を同封
致しますので、よろしければ「お時間のある時に
ご覧ください。



入居のご相談について

ご家族が『もしかしたら認知症かも?』
グループホームに入居したい
グループホームを見てみたい、などなど
気軽にご相談、ご見学ください。
また、今入居されている方のご家族の皆様も
生活の相談等、気軽に声をかけて下さい。

担当窓口 犬山

発行責任者 宮崎 直人

さっぱりして素敵になりました♪♪



外食の風景... おいしそうですね♪♪



仲良くなさんの花束物たまご

*素敵なお年になりますように...♪♪



★HAPPY BIRTH DAY★



きりいだねく

「いいにおいですね」

「ありがとうございます」 「今日のご飯おいしい!」

